

王禅寺処理センター資源化处理施設
王禅寺エコ暮らし環境館及び屋上庭園

視 察 資 料
〔 環 境 委 員 会 資 料 〕

資料1 王禅寺処理センター資源化处理施設
王禅寺エコ暮らし環境館及び屋上庭園について

平成29年7月13日

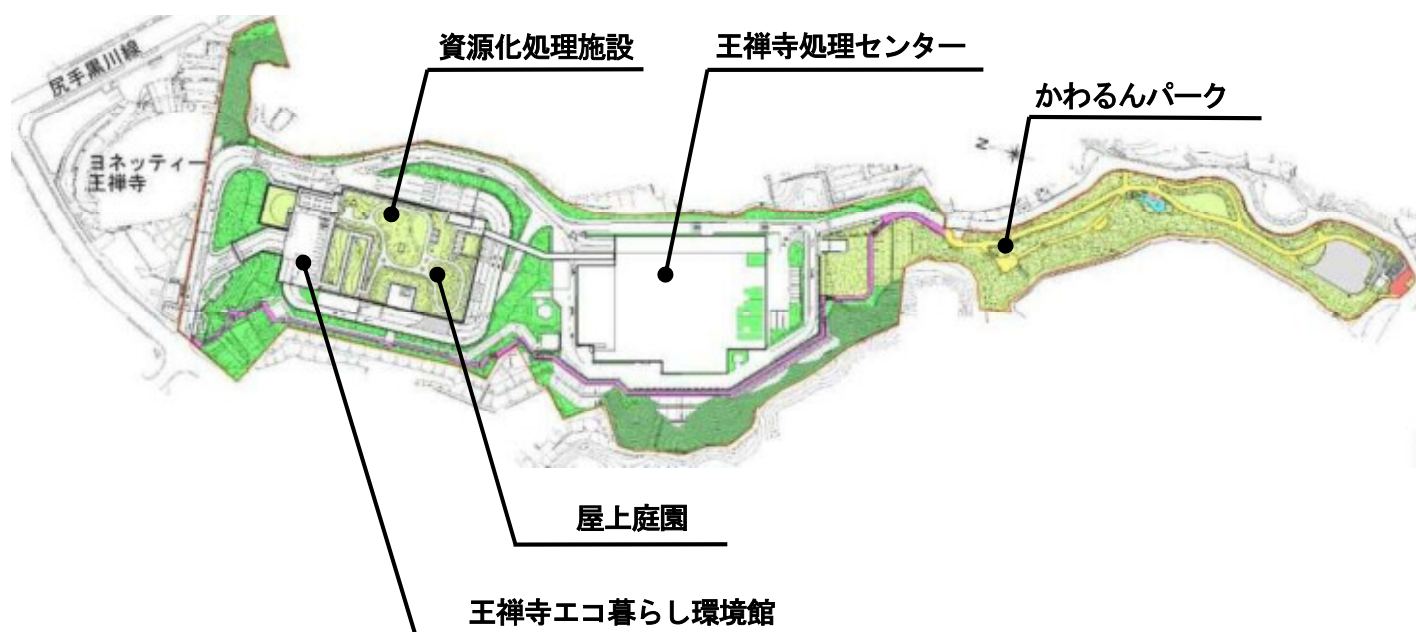
環 境 局

王禅寺処理センター資源化処理施設、

王禅寺エコ暮らし環境館及び屋上庭園について

施設概要

王禅寺処理センターは、ごみ焼却処理施設とリサイクルを行う資源化処理施設の整備に併せて、環境学習施設である王禅寺エコ暮らし環境館、屋上庭園の整備を行ってまいりました。



～ 王禅寺処理センター資源化処理施設 ～

川崎市北部地域（高津、宮前、多摩、麻生区）の粗大ごみ、小物金属、空き缶、ペットボトル及び空きびんを再資源化するための処理を行う施設となっております。

施設概要

敷地面積	約 55,000㎡
建築面積	約 8,000㎡
述べ床面積	約 14,000㎡（展示室を含む）
建物高さ	約 16m（最高部）

設備概要及び搬入実績

処理対象物	設備規模	平成28年度搬入実績
粗大ごみ・小物金属	40t/日（5h）	6,596t（約55%※）
空き缶（スチール・アルミ）	20t/日（5h）	6,418t（約56%※）
ペットボトル	12.5t/日（5h）	
空きびん	25t/日（5h）	6,362t（約56%※）

※川崎市全体の搬入量のうち、当施設の搬入量の割合



～ 屋上庭園 ～

◆概要

- ・屋上庭園は、もともと地域に植生していた郷土種を積極的に取り入れるとともに、四季の変化を楽しめるような植物も取り入れています。
- ・また、太陽光パネル・風力発電装置・太陽光集光装置なども設置しており、環境学習の場としての機能も有しています。

利用時間 : 午前9時～午後4時30分

面積 : 約4,000㎡



太陽光集光装置



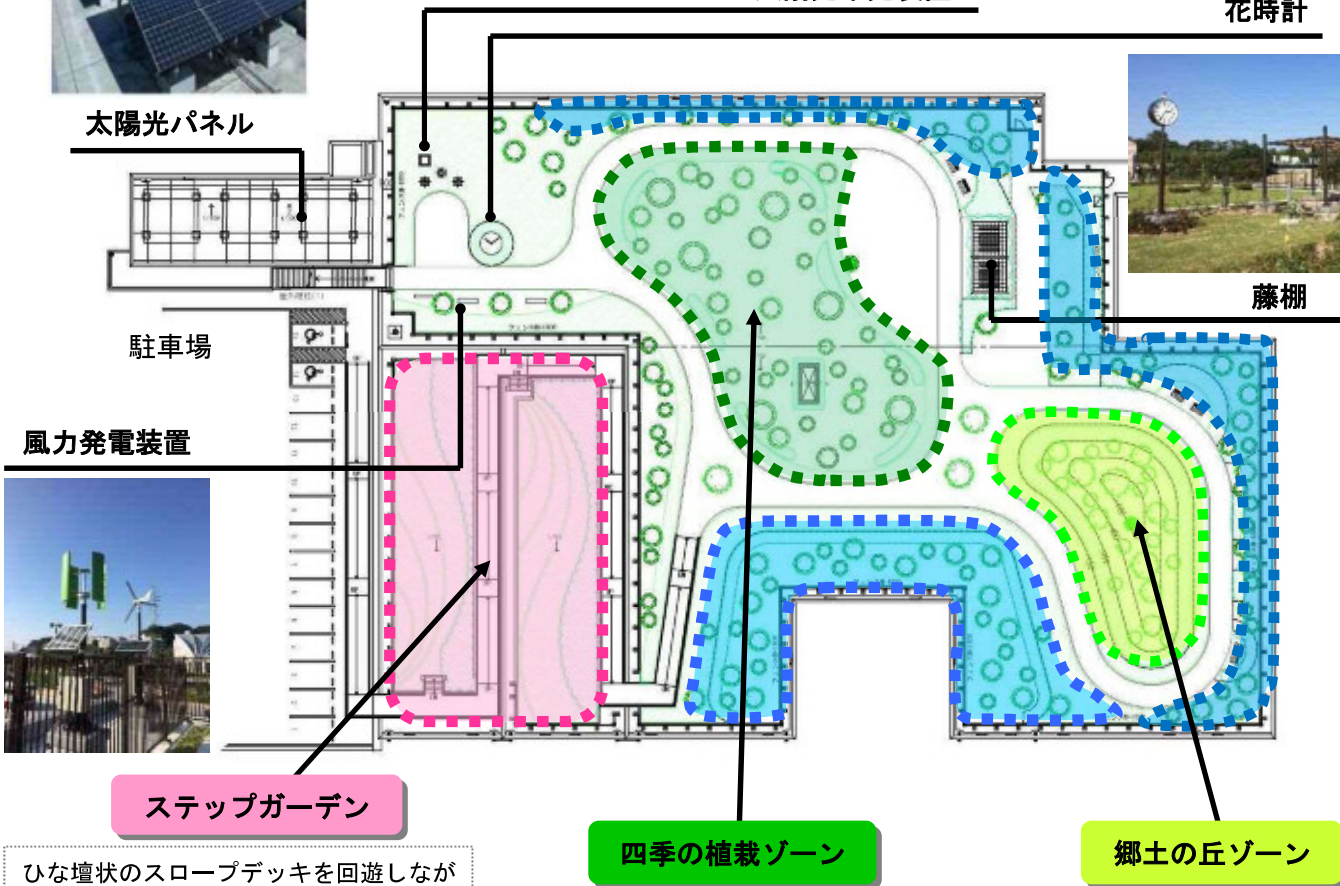
花時計



太陽光パネル



藤棚



ステップガーデン

四季の植栽ゾーン

郷土の丘ゾーン

ひな壇状のスロープデッキを回遊しながら、様々な角度から花をつける低木・地被植物を楽しむ空間としています。



花や新緑、紅葉などにより、季節の移り変わりを感じることができます。



この地域にもともと植生していた郷土種により、王禅寺の丘を表現しています。



～ 王禅寺エコ暮らし環境館 ～

◆施設の特徴

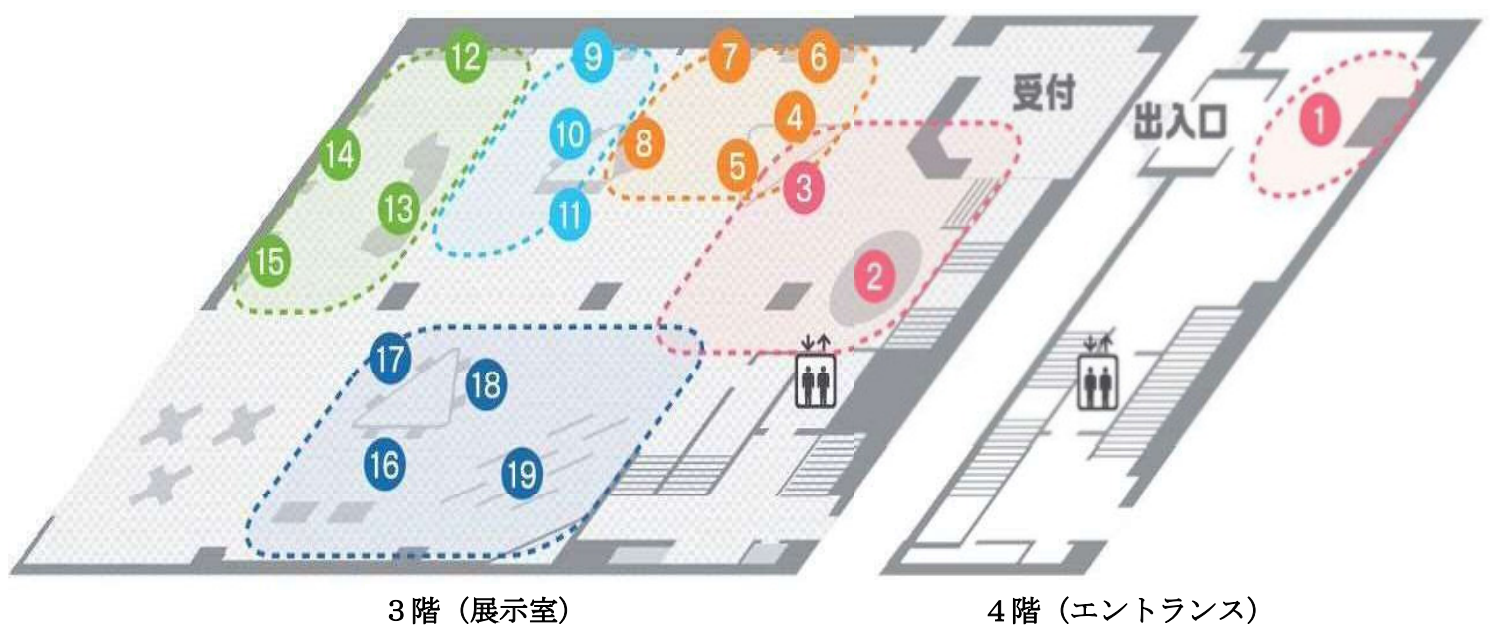
- ・環境問題（資源循環、温暖化対策、自然共生）について、見て、聞いて、触って、体験しながら学習できます。
- ・子どもたちが興味を持つように、コンピュータグラフィックやAR技術※を用い、ゲームやクイズ形式で楽しく学習できます。
- ・展示内容を、住民、市民団体、学校関係者等を交えて検討協議して決定しました。

※AR（Augmented Reality）とは、「拡張現実（感）」と呼ばれている技術で、カメラを通して空間を認識し、3DCG等で「モノ」や「情報」を、カメラの映像に重ねて表示させることで、カメラを通して見る世界にコンピュータが情報を追加したような感覚にさせる技術です。

◆来館者数

	一般見学	団体見学	合計
平成28年度	4,069人	7,724人	11,793人
平成29年度（6月末まで）	2,035人	1,575人	3,610人
累計	6,104人	9,299人	15,403人

◆施設概要〔資源化処理施設の4階、3階の一部〕（面積：約850㎡）



①エントランスゾーン（4階）

メインキャラクターの「かわるん」が来館者を迎える
センサーによりメッセージが表示



②③ウェルカムゾーン（展示室）

施設及び案内キャラクターの紹介、なぜ環境問題について
学ぶ必要があるのかを考える



④～⑧資源循環ゾーン（展示室）

資源循環・ごみ処理、3Rのあり方と重要性について学習



⑨～⑪温暖化対策ゾーン（展示室）

低炭素・地球温暖化や再生可能エネルギーについて学習



⑫～⑮自然共生ゾーン（展示室）

川崎市の自然の歴史と動植物の生態について学習



⑯～⑲総合学習ゾーン（展示室）

川崎市・企業・市民の活動紹介、学習のまとめと復習及び
問題提起

